

カルタを通して住民の交流を深めたい

学区でカルタをつくろう！ in 龍池

地域に関するカルタを作ることで地元への愛着
と住民同士のコミュニケーションを図る

杉林 真樹子 さん
上ル下ル廻ルプロジェクト

取組に協力した中京マチビトCafé参加者
寺村貞之さん（龍池まちづくり委員会）
小林実香さん



群馬県で親しまれている「上毛かるた」に魅了され、京都でも学区ごとに地域の特性を読んでいるカルタが作りたいたいと思いこの企画を始められました。マチビト Café で龍池学区の方と出会い、現在龍池自治連合会、龍池まちづくり委員会のみなさんと京トキワ荘の若手マンガ家さんと一緒にカルタづくりを進めています。カルタ作りだけでなく、龍池まちづくり委員会の定例役員会への参加、取組や企画などの運営を通して、京都がどれだけ地域の方によって支えられているのかを知り、より京都が好きになったと杉林さん。

2月28日には京都国際マンガミュージアムでマンガ家さんと一緒にカルタづくりするワークショップを開催されます。イベントを通して、カルタの楽しさを知ってもらい、住民の方々の交流の場づくりを行いたいと考えておられます。

杉林さんは今後元学区カルタをシャッフルし、御所南カルタ大会をしたいと思っています。通学路以外の地域の文化や歴史をカルタに込めて、遊びながら子どもたちに学んでもらえたら嬉しいです。



ワークショップの様子



中京マチビトCaféでの様子

つながりをいかして

広報
広報紙「マチビト来たる。」での取材

中京まちづくり仕掛け人養成講座
区役所のまちづくり講座を活用してアイデアを形にしました。

取り組んでみてのご感想

マチビトcaféは、さまざまな課題とアイデアを持つ人たちが集まるステキ場所です。一石を投じると、誰かしら返事をしてくれる…こんな貴重なチャンスはなかなかありません。まずは、思いを言葉に！私もここからスタートしました。



杉林 真樹子 さん